

令和 5 年度



幼稚園だより 6月号

文京区立小日向台町幼稚園

「ありがとうの花」

園長 小岩井 聡

梅雨に入ったとはいえ、暑かったり、肌寒かったりと気温の移り変わりの激しい時期になりました。体調を崩さないように、お子様の健康管理をよろしくお願いいたします。

さて、先月末に、昨年度お世話になった先生方との離任式がホールで行われました。対面での実施で、かつマスクを外すことも可能な状況の中で離任式が行え、私としては「ようやく日常が戻りつつある」と感じられる時間で 今まで小日向台町幼の教育にご尽力された吉羽前園長先生をはじめ、7名の先生方にお越しいただきました。子どもたちも久しぶりにお会いする先生方にお会いできる機会として大喜びでした。

さて、この離任式、年長組が自分たちで、室内の装飾やお渡しするプレゼント（子どもたちが描いた絵をたくさん散りばめたカレンダー）を作ったり、贈る言葉や歌を考えたりして取り組んできました。ある日、その練習を見せてもらったことがあります。その時に「離任式って何するの?」という質問を子どもたちに投げ掛けました。すると、「ありがとう、を伝える会」という言葉が返ってきました。「ありがとう」つまり子どもたちは、気持ちを伝えるということを理解していました。言葉で言えば簡単ですが、実際には難しいものです。そこで、「言葉に気持ちを乗せる、歌に気持ちを乗せる。そのためには目線、姿勢、声音など様々な物で気持ちを表しながら、伝えないと、伝わらないよね。できるかな?」と問い掛けつつも、子どもたちにはまだ難しいだろうと思われました。しかし、前日、当日と私の言葉を受け止め、伝え方がどんどん変わっていくのが感じられました。きっと当日お越しいただいた先生方にも、しっかりと子どもたちの「ありがとう」の気持ちが伝わったはずです。気持ちを伝える伝え方やそのことの大切さ、難しさ、など様々なことが子どもたちの学びになったと感じます。

言葉や行動は、大人がモデルを示しつつも、子どもたちが考えて行動することで、一人一人の学びになります。これからも幼稚園やご家庭で様々な経験をして、幼児期の学びとして身に付けていってくださることでしょう。幼稚園もご家庭のご理解ご協力を得ながら、今月も様々な経験ができますよう教育活動を推進してまいります。

そういった子どもたちの経験や体力向上を目的として、6月10日（土）に「保護者と遊ぶ会」があります。今回も、日本コオディネーショントレーニング協会の菅野 映先生（同協会副理事長）による保護者向け講話（4・5歳児）があります。と、子どもたちと一緒に体を動かす実技もあります。親子で触れ合いながら体を動かす楽しさを共有し、子どもたちの経験や学びを広げていきましょう！

